

平成30年4月19日

上ノ国町議会議長

石澤一明様

氏名 岩城昇



平成29年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

- (1) 道内市場の調査研究
- (2) 行政施策に関する調査研究

2 政務活動内容

- (1) 平成29年6月7日～8日
道内市場視察
- (2) 平成30年2月2日
福島再生可能エネルギー研究所
- (3) 平成30年2月2日
福島県郡山市

3 政務活動成果

(1) 道内市場視察

6月7日

○室蘭と苫小牧の2市場による協議が行われた。

市場からは、小希望のため、春先はほとんど道外産とのことであり、不足するものについては、札幌市場より仕入れとなっています。両市場については、上ノ国産のキヌサヤエンドウを早めに出荷してもらいたいとのことです。

6月8日

○札幌市場（丸果）視察

上ノ国産のサヤエンドウが出荷されているため、市場内を視察し、同じく札幌の状況も視察しました。

出荷が早いことから、サヤの価格も高値で当たり3,500円となっていました。札幌については、ニラが中心となっており、価格については出荷量も多いため安値となっておりました。

○担当部長及び課長と協議した結果

各市場ともに各生産者からの出荷量が毎年減少気味であり、現段階では市場での仲買人は、10年前と比較して3分の1程度となっているようで

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

す。その理由としては、大手スーパーマーケットによって、小売店がほとんど無くなってきており、また、販売についても大手スーパーが直接販売を行っているためです。人口減少などが影響しているように思われます。今後も、お客様に喜ばれるためには、生産に力を入れ、上ノ国町の生産物であるキヌサヤエンドウを大切にし、今後も長く市場に出荷できるよう努力するべきと思います。

(2) 福島再生可能エネルギー研究所

○説明員：古谷博秀センター長（博士）

○人 員：421名

○予 算：28億2,600万円

本施設では、再生可能エネルギーの研究を主として、風力発電を中心に太陽光発電、地中熱発電などに関連するものや我々国民の電気に関する利用方法、コスト低減、開発等すばらしい研究がなされている。

研究室の全般について説明されたところによると、主として太陽光発電についてはコスト低減に力を入れており、特に屋根の研究を推進し気軽に利用できるようにすることを中心に取り組んでいるとのこと。

まとめ

福島再生可能エネルギー研究所の調査では、電力供給という生活に直接関係があるものであり、風力発電や太陽光発電などの持続可能なエネルギー供給源の必要性を聞き、今後、本町でも積極的な導入を図るべきと考えさせられた。

(3) 福島県郡山市

○説明員：郡山市農林部 園芸畜産振興課 若穂 豊 係長（鯉係長と
言われているようです）

郡山市では鯉の養殖が盛んであり、2015年に「復興応援 キリン絆プロジェクト」の水産業支援事業として、総額1,000万円の助成を受けて、郡山市と県南鯉養殖漁業協同組合が協同で、郡山市の養殖の可能性を開く取組みとして「鯉に恋する郡山プロジェクト」をスタートさせております。

平成28年度の鯉の生産量は850トンで、カワウによる鯉の被害があったそうです。

取り組み内容としては、ターゲットに合った販路の開拓、鯉食キャンペーン

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙2

ン、海外への情報発信、学校給食で鯉メニューの復活、ヤフー株式会社本社社員レストランでの鯉料理の提供などを実施しています。

今後に向けた課題としては、①食べる機会の創出、②一次加工及び流通体制の整備、③郡山の鯉認知度アップなどの課題があるそうです。

まとめ

鯉の生産量や鯉料理の開発や知名度の向上に大変苦勞している状況が見られ、生産から販売に至るまでの努力に感嘆いたしました。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。